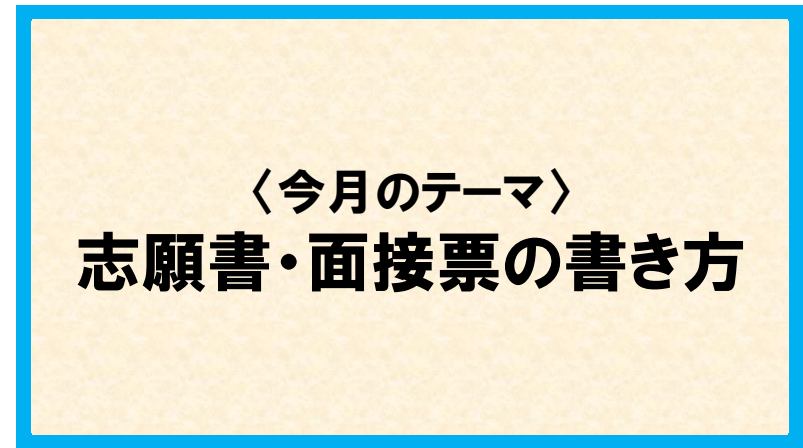




1



2

具体的な記入例について、現在整理中のため、
HR当日に共有します。

3

4

〈教育時事解説〉 令和の日本型学校教育 の構築を目指して

5

個別最適な学びを推進するために何をしますか。

- 子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、**個々の興味・関心・意欲等を踏まえて**きめ細かく指導・支援する。
- 子供が自らの学習の状況を把握し、**主体的に学習を調整**することができるよう促していく。

指導の個別化	学習の個性化
確かな学力を育成するため	基礎的・基本的な知識・技能等や学習の基盤となる資質・能力等を土台
・効果的な指導を実現すること(支援が必要な子供に重点的な指導を行うことなど)	・子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供すること
・指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行うこと(特性や学習進度等に応じて)	・子供自身が学習が最適となるよう調整すること

7

個別最適な学びとは何ですか。

「個に応じた指導」(指導の個別化と学習の個性化)を学習者の視点から整理した概念です。

どうすれば、個別最適な学びが実現できますか。

- GIGAスクール構想の実現による**ICT環境**の活用、**少人数**によるきめ細かな指導体制の整備を進める。
- 「**主体的・対話的で深い学び**」を実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開する。

6

協働的な学びは、なぜ行うのですか。

「孤立した学び」に陥らないよう

探究的な学習や体験活動等を通じ、多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する。

個が埋没してしまうことのないよう

一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出すことができる。

協働的な学びは、どのように実施しますか。

リアルな体験を通して学ぶこと

知・徳・体を一体的に育むために、教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験・体験活動などの重要性が、Society5.0時代にこそ一層高まる。

他の学校の子供等と学び合うこと

異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた学びも大切。

8

ICTを活用した教育を推進する理由を教えてください。

個別最適な学びと協働的な学びを実現するためにICTは必要不可欠です。

ICTを活用した教育を推進するために必要なことは何ですか。

- 教育の質の向上につなげていくこと。
- 健康面を含めICTが児童生徒に与える影響にも留意すること。
- 学校の組織文化、教師に求められる資質・能力も変わっていく中で、Society5.0時代にふさわしい学校の実現を図ること。

ICTを活用した教育を推進するために留意することは何ですか。

- ICTを活用すること自体が目的化しないようにする。
- 効果検証・分析を適切に行う。

9

教育の質向上のため、どのようにICTを活用した教育を実践しますか。

- ICTを「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かす。
- 従来は伸ばせなかった資質・能力の育成や、これまでできなかった学習活動の実施、家庭等学校外での学びを充実する。
- 児童生徒自身がICTを自由な発想で活用するための環境整備と、授業展開を工夫する。
- 特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援をおこなう。
- 個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会を提供する。
- ICTの活用・少人数によるきめ細かな指導体制の整備により、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

10